



報道関係者各位

2016年12月1日

Appier, Inc

## Appier、シリーズ B の資金として 1,950 万米ドルを追加調達 AI を活用したソリューションの開発とさらなる発展を促す

AI（人工知能）テクノロジー企業の Appier（エイピア、以下 Appier、本社：台湾、共同創業者／CEO：チハン・ユー）は、シリーズ B の資金として、（テマセク・ホールディングスの一員である）Pavilion Capital International Pte Ltd、WI Harper Group、（カザナ・ナショナルの一員である）FirstFloor Capital、および Qualgro から 1,950 万米ドルの追加調達したことを、本日発表しました。同社は、AI を活用したサービスの研究開発と、アジアにおける継続的な雇用および市場拡大に資金を活用します。今回の資金調達により Appier のシリーズ B の総資金額は計 4,250 万米ドルとなり、現在までの総資金額は 4,950 万米ドルに達します。昨年最初のシリーズ B の資金調達を行ってから、Appier の事業規模は 3 倍しています。

加えて Appier は、台湾、日本、並びにシンガポールにおける Aixon Platform のパイロット販売についても発表しました。さまざまな企業がユーザーデータを収集、分析し、マーケティング判断を行うための情報となる知見を生成するのに役立つプラットフォームです。Aixon Platform は、データの予測的分析を通じて企業が意思決定を行うためのよりよい情報を提供できる、人工知能型ビジネスツールの開発に向けて一步を踏み出しました。

Pavilion Capital International Pte Ltd の Chee-Kong Choun は、「クロススクリーンにおける人工知能に対するこの早期の投資により、Appier はテクノロジー業界を席卷する大きな変化の最前線に立っています。私たちは、Appier が製品開発と成長の次の段階に進むにつれ、彼らとのパートナーシップにワクワクしています。」と述べました。

企業が対応しなければならないデータの量は爆発的に増加しました。実際、ここ 2 年間で生成されたデータの量は、人類の過去の歴史全体において生成されたデータの量よりも多いのです。しかし、このようなデータから有益な知見を抽出するにあたって、企業は課題に直面しています。有資格者とテクノロジーがともに不足し、そのことがビジネスの成長に対する深刻な制約となりつつあります。



「今日のビジネスは、どんどん複雑化し、ハイペースで動き、相互接続されたオンラインおよびオフライン環境で意思決定と業務を行わなくてはなりません。人工知能は、企業に大きな影響を与える複雑な問題を解決する最良のアプローチです。」と、Appier の共同設立者兼 CEO であるチハン・ユーは述べました。「今回の資金調達により、今日産業界が直面している問題のいくつかを解決するのに役立つ AI ベースのビジネス製品への投資を継続できます」

「AI は私たちが生活し、働いているこの世界を再定義してしまうような次世代テクノロジーの大きな波です。Appier の過去 4 年間の業績は、このテクノロジーに対するビジョンと集中の結果です。私たちは、次の成長段階に向けて準備している Appier を支援できることをうれしく思います。」と、WI Harper の Edward Liu は述べました。

「データを実行可能にすることは、今日の企業にとって大きな課題です。2012 年の創業以来、Appier は、アジア各地のブランドが消費者を理解するための手助けをし、デバイス間の移動を多様化させる支援を行いました。熟練した人工知能学者のチームにより生み出された、データを知見に変えるテクノロジーに対して彼らが継続的に注力していることは、Appier に対する私たちの大きな信頼につながっています。」と、FirstFloor Capital のマネージングディレクターである Nizar Ali は述べました。

Qualgro のマネージングパートナーである Heang Chhor は、「アジア発のクロススクリーンファーストのテクノロジー企業として、Appier は革新的かつ費用対効果の高いプラットフォームであり、人工知能を活用して消費者のロイヤルティとコンバージョンを向上させています。オーストラリア、ニュージーランド、およびその他のアジア地域で拡大する Appier チームと一緒に仕事ができることを楽しみにしています。」と述べました。

## **Appier, Inc について**

2012 年設立の Appier は、AI（人工知能）を活用し、マルチデバイス時代における企業の成長と成功を支援するテクノロジー企業です。Appier の研究開発チームは、AI、データ分析、分散処理システム、マーケティングの経験を有するコンピューター科学者とエンジニアの熱意あふれるメンバーによって構成されています。社員は、グーグル、楽天、ヤフー、インテルのほか、ハーバード大学やスタンフォード大学の有名な AI 研究グループの出身です。Appier は台北に本社を置き、東京、シンガポール、シドニー、ホーチミン、マニラ、香港、ムンバイ、デリー、ジャカルタ、ソウル、クアラルンプールのアジア全域に計 12 の拠点を構え、500 を超える世界中のブランドと代理店にサービスを提供しています。詳細は [www.appier.com/jp/](http://www.appier.com/jp/) をご覧ください。



**本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先：**

Appier, Inc

広報代理 電通パブリックリレーションズ（担当：クーパー、池上）

電話：03-5565-6791（クーパー）/03-5565-2783（池上）

Email：[timothy.cooper@dentsu-pr.co.jp](mailto:timothy.cooper@dentsu-pr.co.jp)（クーパー）/  
[s-ikegami@dentsu-pr.co.jp](mailto:s-ikegami@dentsu-pr.co.jp)（池上）

**Appier のサービスに関するお客さまからのお問い合わせ先：**

Appier Japan 株式会社 [Appier Japan K.K.]

電話：03-6435-6617